

Q 学長になられて いかがですか？

A 昨年度までの授業関係がメインだった教務部長の職と比べると、守備範囲が大幅に広がり、戸惑っているというのが本音です。

勉強を続けながら、良い大学運営を行わなければと気持ちを引き締めています。学長室は他の部屋と比べて広くなっていて、一人で執務しているときは、だっ広い感じで少し居心地が悪いです (笑)。

Q どんな外大に したいですか？

A 学生が卒業する時に、本学で学んで良かったと感じてもらえるような大学にしたいと考えています。一方で、大学は研究の場でもあります。大学内での研究が進捗し、その成果を発信し続ける大学であってほしいと願っています。

Q 学生時代は、 どんな学生でしたか？

A あまり勉強はせず、よく仲間と山登りをしていました。(もっとも、私が学生時代の頃は、大学は「レジャーランド」と呼ばれていたもので、平均的な学生よりは勉強していたのかもしれませんが・・・)。

色々なところへ出かけましたが、一番印象に残っているのは「雪山で遭難しかけたこと」です。1月の南アルプスで遭難しかけて、凍っている滝から滑り落ちビバーク (緊急野営) しました。翌朝、なんとかルートに戻りました。命の危険を最も感じた出来事でした (笑)。

Q 学生への メッセージ

A 大学では、自分が本当に取り組みたいと思う課題 (勉学やそれ以外にも含めたあらゆる課題) を見つけ、果敢に課題に取り組んでほしいと思います。ときには、勇気を出して一歩を踏み出すことも大切です。そして、それが人生をかけた課題になるともっと強みになりますので、色々なものに興味をもってもらいたいと思います。

新学長

田中 悟 教授
インタビュー